

第68回全国高等学校剣道大会で準優勝に輝いた八代白百合学園高等学校の皆さん
④小学生1～6年生時に所属していた「大津南少年剣道クラブ」の稽古納めで小学生に指導する柝原さん④



好きな言葉は「感謝」
みんなにありがとうと伝えたい



とちはらうれい
柝原愁さん(新)

八代白百合学園高等学校3年生の柝原愁さんは、昨年の8月に行われた全国高等学校剣道大会で団体女子の部で準優勝を収める。剣道を続ける中で成長した彼女にクローズアップする。

「全国制覇をしたら世界一になり、もっと世界中に剣道を広めていきたいです。そして、今通っているクラブの先生のようなカッコいい先生になり、道場を開いて、八段までとって開会式で日本剣道形の演武をしてみたいです」と小学6年生時に、町教育委員会が主催する「夢作文」に書いた。

小学1年生時に、「大津南少年剣道クラブ」で剣道を習い始め、小学校卒業後、中学校の剣道部に入部。強くなりたい思いが人一倍の柝原さんは、どんなに練習をしても勝てない自分に葛藤を抱き始める。中学3年の中体連では県予選にすら進むことができず、部活引退を機に「剣道を辞めたい」と思っていた柝原さん。剣道から離れようとしていた時、友人から八代白百合学園高等学校の剣道部の見学に誘われる。

同校の部活を見学する中学生の柝原さんは、次元の違うパワフルな試合や先輩たちのあいさつ、礼儀などを目にし、剣道への強い思いに触れ「この高校で日本一を目指したい」と志すように。中学卒業後、同校に入部し、剣道部に入部。先輩たちの背中を追いつける。

高校剣道は、勝つことだけでなく人間面を成長させてくれたと柝原さんは言う。「剣道は相手の考えを予測しないとできない。そのため日頃から相手に対して欲しいこと、人がやりたくないことを率先して行ってきた。初めは剣道のためにしていたことが、今となっては当たり前になるようになった」と思われた環境で剣道ができることに感謝する柝原さん。次は大学へと舞台を変え、日本一を目指す。

つづきの声

年が明けてから成人式や大津高等学校サッカー部の準優勝、ソロ像の除幕式と、コロナ禍に明るい話題が多くて嬉しいですね▼新成人の皆さん、おめでとうございます。コロナ禍で制限のある式典となりましたが、着物やスーツを着て大人の一步を踏み出そうとしている新成人の姿は頼もしくかったです。小さいことで、目標に向かって頑張ってください▼県広報コンクールで「広報おおづ」が町部の部で佳作を受賞しました。取材にご協力いただいた町民の皆さんのおかげです。町民の皆さんおめでとうございませう。そして、いつも快く取材などを引き受けてくださり本当にありがとうございます。今後も、「広報おおづ」のために取材や情報提供などのご協力をお願いします(SU)

からいもくん便り
大津町総合情報メール

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」を入力して送信)。



二次元バーコード



UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

Public relations
OZU TOWN

広報おおづ 2022 2

発行・編集 大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本市菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※ 広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物インクを使用しています。

2100 印刷 株式会社

KOICHI-PHOTO

進化する
ブルー軍団

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報
おおづ

— 第100回全国高校サッカー選手権大会

大津高等学校サッカー部準優勝—

2

FEB. 2022

